

【研修日時】 令和 2 年 7 月 16 日(木) 17 : 45～18 : 45

【研修場所】 沼津市立病院 2 階講堂

【研修テーマ】 「良好なコミュニケーションが患者の安全を守る 」

～ISBARC (SBAR) を使って報告してみよう！～

【講師】 秦まき皮膚科部長

【参加者の職業別分類】

研修医 10 名、看護師 24 名 (合計 34 名)

【研修内容】

< 研修目的 >

ISBARC を活用し、タイムリーに相手が理解できる情報伝達がおこなえる。

< 研修目標 >

1. 講義を通して、ISBARC(SBAR)コミュニケーションツールについて学ぶ。
2. 演習を通して、ISBARC による報告ができる。

< 研修内容 >

- ・ 正しく情報を伝えることの重要性
- ・ ISBARC とは
- ・ 良い ISBARC 報告の動画視聴
- ・ 事例演習 3 題

— 研修会風景のご紹介 —



ISBARC(SBAR)
アイエスパーシー/アイエスパーク

緊急事態や早急に回答がほしい場合に、自分の思いや悩みを確実に発信しないと相手がその重要性を受け入れてくれないという前提を理解し、具体的、明確に自分の考えや希望も含めて表現する方法です。

I dentify	報告者 患者は誰
S ituation	患者に何がおこっているか
B ackground	患者の臨床的背景は何か
A ssessment	問題に対する自分の考えは何か
R ecommendation	問題に対する自分の提案は何か
C onfirmation	承諾・復唱

ISBARC (報告シート)

I 誰のこと?	私は、(部署名、自分の名前) _____ です。 患者さんは、(患者名、年齢、性別) _____ です。
S 状況	患者に何が起きている? <small>*患者の状況が変わったのか、治療方針の変更希望なのか、連絡が必要になった状況伝える。</small>
B 背景	患者の臨床的背景・状況は何か! <small>*呼吸・循環・意識レベル・症状・発熱など自分が問題としている異常所見を伝える。</small>
A 判断	私が考える問題は何か! <small>*自分の判断を伝える。</small>
R 提案	私の提案はこれ! <small>*具体的に提案をする。</small>
C 復唱	指示受け内容の口頭確認 <small>*指示内容が正確で確認取得する。</small>